



## 人との関わりで培われる価値がある経験

校長 原田 佐由利

間もなくパリ五輪。開会式は7月26日（日本時間7月27日午前2時30分開始）、7月24日サッカー・ラグビーから競技が始まります。32競技329種目が競われ、27日にはメダルが決まる種目もあります。その中で、私が魅せられている競技は、跳躍から着水まで2秒弱で結果が決まる飛込みです。この一瞬ともいえる時間をコーチや応援してくれる人々とともに成功へと創り上げようとする生き方に、次元の違いを感じながらも、「目標に向かい、自分がすべき行動を選択し行動したこと＝価値ある成長」と考えます。

中学校では、神奈川県中学校総合体育大会川崎ブロック大会、3年生にとっては県・関東・全国へとつながる最後の大会が行われました。各種目、各会場で本校の生徒は自分で決めた目標に向かい、生き生きと活躍する姿がありました。懸命に応援する姿もありました。嬉しさあふれる笑顔、完遂した涙ある笑顔、悔しさから顔があげられず、涙をこらえるたくましさ。点数や記録に表れる勝ち負けだけではない心の豊かさが育まれたことが素晴らしく、そして、誇らしく思いました。努力した時間は、確実に自分の価値を高めました。きっと次の生き方につながっていくことでしょう。

先日、コミュニティ・スクールがありました。川崎市教育委員会、平中学校を支えてくださっている地域の方、保護者の方、生徒代表の4者での意見交換を行いました。参加した生徒の立派な態度から、学校での学びを自分事としてとらえていることが感じられ大変うれしく思いました。意見交換の中では、以前から取り組んでいる「平中SDGs未来プロジェクト」の話や、子ども会議で決定した小中合同企画として生徒会が取り組もうとしている「給食ビンゴ」の話で盛り上がりました。また、「給食メニューにふりかけがあったら……」と素直な声も上がり、教育委員会の方も貴重な意見として耳を傾けてくださいました。中学校と地域、教育委員会をつなぐ、価値ある会議となりました。

保護者の皆様、地域の皆様、夏休み中の生徒の生活は、家庭と地域が中心となります。大人に見守られ成長している平中学校の生徒をどうぞよろしくお願いたします。

## 夏休み中の生活についてのお願い

生徒指導部より

間もなく夏休みがやって参ります。この夏休みは、生徒自身の計画に基づいた自律的な生活や、家庭での手伝いなど、家庭中心の日課となります。生徒各自が健康で充実した夏休みを過ごせるように、各クラス担任より休みに入る前に、面談等を通してお伝えいたします。ぜひご家庭でも、次の点にご留意頂き、ご指導くださるようご協力願申しあげます。

- 《1》 計画的な生活を  
夏休みの計画をたてて、有意義な日々を過ごさせてください。
- 《2》 実りのある学習を  
提出物や宿題を計画的に終わらせられるように、ご指導ください。
- 《3》 外出時間を守って  
外出の時は、誰と・いつ・どこへ行くか・何時に帰るかを、ご確認ください。  
また、用事もないのに繁華街に行かないようにしてください。特に、生徒だけのゲームセンター等への出入りによる問題が増えていますので、ご注意ください。
- 《4》 危険の防止を  
中学生の交通事故、特に自転車に乗っての事故が毎年みられますので十分ご注意ください。  
被害者にも加害者にもならないよう心がけさせてください。
- 《5》 その他  
携帯電話・パソコン等による情報通信ネットワークの利用でのトラブルが増えています。各家庭でスマホ・携帯電話・パソコン・通信ゲームなどの使用ルールを話し合う機会を設けていただければと思います。

ご家族ともに充実した夏休みを過ごすことができるよう願っております。

詳しくは、学校より「夏休み中の生活について（お願い）」を配付しておりますので、ご確認ください。

## 県総体壮行会



## じゃがいも収穫



## 新地域に学ぶ会

### 『We love 地域 We love 平』

「新地域に学ぶ会」担当より

今年度、地域に学ぶ会は、「地域の方と語ろう」というコンセプトの座談会に変わり、7月11日（木）5・6校時に2学年が行いました。

講師の方を迎えるにあたり、学年班長会では、この会の目的をみんなに分かりやすく伝えようと、簡単で分かりやすい目標を考え、『We love 地域 We love 平』と決定しました。そして、講師の方と学年の仲間とたくさん語り合い、地域を知り、地域の人を知り、もっと平を好きになろう！というスローガンを掲げました。

当日は、講師8名の方に6つの班に分かれていただき、分科会を行いました。自治会の活動や職業について、昔のこの地域での遊びやこの地域の開発について、また、平中創立時の部活動や体育祭種目のソーラン節の卒業生エピソード、30周年式典ではどんなことをしたのか、高齢者と地域をつなぐボランティア活動など、各分科会で、それぞれとも新たな発見がありました。

この会を終えて、来年の40周年を頑張りたい、この地域を見守っていききたい、お祭りに参加していこうと思う、職業について考えていきたい、今を楽しみたいなどの感想がありました。子ども達の考える機会になり、有意義な会となりました。

## 5時間目

## 分散会



## 6時間目 全体会

